

Rotary Club of Sanuma
2023-2024年度
VOL 60

週報
佐沼ロータリークラブ

佐沼ロータリークラブ
2023-2024テーマ
「継続」と「変化」を实践し、
世界を変える行動人となる。

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ

会長 千葉正宏
幹事 布施孝尚
会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327



第2881回例会 2023. 10. 12 No.13

本日の出席率

・本日の出席率 97.8%

ニコニコボックス

- ・千葉正宏会長 関孝会員の卓話、勉強させていただきました！
- ・関孝会員 10月1日、姉妹都市、富山県入善町の70周年記念式典に出席して参りました。本日のスピーチは、旧米山町からの交流の歴史を紹介したいと思います。
- ・江川元徳会員 中東また戦争が発生しました。こまります。
- ・八谷郁夫会員 関孝会員スピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 関孝会員のスピーチに期待して！
- ・菅野幸一郎会員 関孝会員のスピーチ楽しみにしております。
- ・高田次雄会員 今日は見事な秋晴れ、大安吉日。そのもとの関孝会員のスピーチ、大変楽しみです。朝夕かなり冷え込みますのでご自愛下さい。
- ・菅原慶一会員 関孝会員のスピーチに期待します。
- ・富士原裕子会員 今日は秋本番、ほんとうにすがすがしい天気ですね。実りの秋、芸術の秋、皆様それぞれご活躍のことと思います。関孝会員の卓話、楽しみにしております。
- ・及川昭宏会員 本日は、関孝会員のスピーチ。楽しみにしております。よろしく願います。
- ・佐藤早智子会員 関孝会員の卓話、楽しみにしております。
- ・及川富男会員 関孝会員のスピーチに期待しております。
- ・伊藤幸子会員 秋らしく季節がこちよくなりました。関孝会員の卓話、何が聞けるか楽しみです。市のため御期待申し上げます。
- ・伊藤秀雄会員 関孝会員のスピーチ楽しみです。10月26日の職場訪問はマルニ食品です。女性エンパ

ワーメントをしっかり学びましょう。現在17名の出席です。宜しく願い致します。

- ・布施孝尚幹事以下 本日のスピーチに期待して。
佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 千葉吉男会員
佐竹孝行会員 遠藤光則会員 佐々木源悦会員
熊谷敏明会員 高橋利光会員 武川毅会員
太田陽平会員 杉田広仁会員 佐藤哲弥会員
二階堂恭子会員 志賀昭洋会員 阿部康史会員
佐藤郁子会員

以上、ありがとうございます。

会長要件 千葉正宏会長

10月に入り急に寒くなってまいりました。夏は異常に暑く急に寒くなり体調を崩されていないでしょうか？今年の気候は気温の高い日が続きましたので春と秋が無くなったように感じます。

10月7日イスラム組織ハマスによるイスラエルへの大規模攻撃が開始され、沢山の犠牲者が出ております。犠牲となられた方々に心からお悔み申し上げます。ウクライナ情勢と併せて世界中が危険な状態に入っておりますので、紛争が早く収まってくれることを期待するほかありません。紛争のほとんどは「領土紛争」です。私の仕事の中には「境界紛争解決」という業務があります。国と国とが国境争いをするくらいですから、一般人でも争うのは仕方がない事なのかもしれません。

国際大会への参加を理事会で決定いたしましたので募集を出させていただきました。国際大会までには紛争が収まってくれることを祈りたいと思います。

千歳セントラルRCの活動が北海道新聞に掲載されておりますので、ご紹介いたします。

千歳セントラルRCで運営している「ふれあい農園」で会員が育て収穫したジャガイモを市内子ども食堂に寄贈したという事でした。

ひとり親の家庭では、保護者が仕事や家事に追われ

てしまうために子どもが十分な栄養の食事をとれない、孤食状態になるということも増えてきています。孤食とは「一人で食事をとる孤独な食事のこと」を言います。私のPTA時代にこの問題が出てきておりました。親が仕事で忙しく或いは片親で朝食を作ってくれない、作ってもらえても一人で朝食をとるという事が問題となってきました。少し古い資料ですが、平成31年の調査で毎日朝ご飯を食べている子ども86.7%、まあまあ食べている8.6%、あまり食べていない3.6%、全く食べていない1.0%、となっております。

文科省から子供の生活習慣づくりについて、社会全体の問題として子供たちの生活リズムの向上を図っていくため、平成18年4月に「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が発足し、文部科学省「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進するという宣言も出ています。

そういった子供たちに対して「無料」「低料金」で食事を提供することを目的としてはじまったのが「こども食堂」です。このような団体を支援なさっている千歳セントラルRCは大変すばらしいと感じます。どうやって畑を確保したのか、作業はどの様に分担しているのか、その辺を伺いに11月7日に行ってまいります。

幹事報告 布施孝尚幹事

- ・ガバナー事務所より 月信10月号が届く
- ・川崎大師RCより 会員名簿、会報が届く
- ・登米市環境市民会議より

1. 「市民参加の新たな森林づくり」秋の植樹祭案内
日 時 11月7日(火) 10:00~12:00
集合場所 登米市立米川小学校 (9:30集合)
植樹場所 東和町米川字北上沢地内
2. 水環境改善研修会の案内
第2回:10月24日(火) 第3回:10月31日(火)

各委員会報告

- ・60周年事業準備委員会 (及川昭宏委員長)
60周年記念式典開催のお知らせ
日 時 2025年5月17日
場 所 ホテルサンシャイン佐沼
開催に向けて動き出します。ご協力よろしく願います。
- ・姉妹クラブ委員会 (高橋利光委員長)
千歳セントラルRC訪問 (11月7日)に参加される方の打ち合わせを例会終了後に行います。
- ・職業奉仕委員会 (伊藤秀雄委員長)
職場訪問例会のお知らせ
日 時 10月26日(木) 12:30~13:30
場 所 麺や「文左」(マルニ食品)
※出欠の連絡まだの方は早目をお願い致します。

今週のスピーチ

「旧米山町短台谷地の開墾と富山県入善町との姉妹都市交流」 関孝会員
10月1日(日)、旧米山町と姉妹都市交流を結んでおります富山県入善町が誕生してから70周年ということでお招きをいただいて記念式典に参加をさせていただいて参りました。旧米山町から引き継いで登米市との姉妹都市であります。何故富山県の入善町と姉妹都市を結んでいたか深くは存じておりませんでした。今回訪

問した事をきっかけに是非皆様にこれまでの歴史をお伝えしながらご紹介させていただきたいと思えます。

先ず、富山県入善町に深く係わりのある旧米山町短台谷地の開墾の歴史を平成元年米山町立米岡小学校が制作したYouTube「短台谷地開墾」がありますので、ご覧になっていただきたいと思えます。

大正の終わりから昭和の始めにかけて国勢情勢が大きく変化して、国では食糧が確実に足りなくなるといいう危機感を持っていたようで、そうしたことで国有地などを売却をしながら開墾し食糧を増産しようという国の方針に従って始められたのがこの短台谷地の開墾です。

米山町の短台地区は、大正12年11月に旧米山村が宮内省より御料地(皇室の所有地)を払い下げを受けた。当時940haを9万2,590円で譲り受けた。大正15年1月に和歌山県出身の松山常次郎氏に売却し、松山常次郎氏が測量・設計し工事に着手しました。

松山常次郎氏は東京帝国大学語学部卒業後、朝鮮半島に渡り朝鮮半島の開拓事業で大成功されました。水道、電気等のインフラの整備に特に力を入れ、朝鮮で常次郎さんの名前を知らない人はいなかったと言われております。その後、国会議員となられ国の要職を歴任されました。大正15年米山村に於いて原野「短台谷地」の開墾に着手、1,200町歩の水田を造成、日高見農場を設立経営。終戦後農地開放により土地を手放す。たび重なる水害等々にあい、資金繰りが行きづまった時に力を借してくれたのが高島順作氏でした。

高島順作氏は、新潟県人の貴族議員で、高島組を起こし新潟県下の公共事業を受注。特に北陸本線直江津から富山間の鉄道工事を行った。

松山氏と高島氏が力をあわせ、私財を投じて事業を再開させ事業を完成。

新潟の高島組が富山から鉄道をひいていた時の労働者が富山の方々だったそうです。そして米山で大工事をを行う時にも労働者として富山、新潟、石川の方々が米山に来て働いていた。工事が終わった時に米山に入植したという歴史があります。又、同時に千貫谷地(南方西郷、野谷地、千貫、蕪栗等)からも昭和10年に福島県の太田秋之助氏を中心に開墾がなされた。

そうした入植の歴史があって平成15年旧米山町の方から入善町の方に是非姉妹都市を結ぶことをお願いした。平成15年入善町は50周年を迎えた式典の中で友好都市の調印が行われ、登米市からは、当時米山町で駝鳥を飼ってましたので、つがいの駝鳥を贈りました。入善町からは鹿踊りの鹿頭が記念として贈られました。

富山はチューリップの産地です。米山チューリップ祭は東北一ですが、当時県議員であった佐々木久寿先生が入善町のチューリップを見て、是非米山でも咲かせたいと自宅近くでしたのが始まりで、これも入善町との係りでのことです。

東日本大震災が起きたとき、5日目に入善町から支援物資が届きました。不足していた粉ミルクを中心に登米市民の命を守るためにいち早く届けられました。

この様に、旧米山町からの深い交流のお陰で支援をいただいた、又、津山町で大きな水害があった時も多くの義援金をいただきました。子供たちの交流も盛んに行われております。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。